



新潟県をはじめ、新型コロナウイルスの感染は収まらず、いくつかの都道府県に対しては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発動されています。今年もゴールデンウィークはどこにも遊びに行けませんでした(福島潟の菜の花を見たくらいでしょうか; 上記写真)。新型コロナウイルス感染の収束のカギはワクチン接種です。当院職員へのワクチン接種は、清掃等の外部委託の方々も含め 330 人に 2 回目も完了しました(5月14日)。大きな問題は生じず、私も接種部位の軽い筋肉痛が 2 日ほど見られたのみでした。(写真下、宮島 記)



さて、新潟市の高齢者のワクチン集団接種は 5月15日から始まり、当院での個別接種は 5月27日から行っています。ワクチンの予約が取れないという声は当方にも届いていますが、国は各県に接種方法を丸投げし、県は各市町村におろし、新潟市は各病院・診療所の自主性に任せている状態です。このため各病院・診療所は混乱している状況なのです。当院は、現状で、診察にいらっしゃった患者さんにワクチン接種の

予約をとっていただくようにしています。不満の声も聞いていますが、うまい方法が見当たらないこともご理解をお願いします(電話予約を予定した開業医のいくつかは、電話が鳴りやまず受話器を外したそうです)。なお当院では、例年インフルエンザのワクチン接種を 2500 人くらいの方に接種していますが、**現在、高齢者の新型コロナワクチンの接種は 8 月中旬までで約 3000 人・6000 回までの予約枠を作っています。**接種される方が密にならないように、接種後の様子観察などの場所も考え、ウィークデイの他、土曜・日曜にも接種枠を作り、接種場所も数か所に分けて予定しました。慌てずとも必ずワクチン接種はできると思います。なお、新潟市が計画した集団接種会場にも当院の医師・看護師を派遣しています。また、追加で新潟市北区旧公民館に集団接種枠ができた事を御存じな方もいらっしゃると思いますが、これは、当院と北区の医師会が北区区役所に提案、実現したものです。



新型コロナウイルスに感染していた患者さんがそうとわからず 4月30日から一週間、当院の一般病棟に入院していました。患者さんは入院後一歩も個室病室の外に出ていなかったこともあり、当該病棟の入院患者さん全員・病棟職員・全医師に対して PCR 検査を行いました。全員陰性で感染拡大は起こりませんでした。今後も感染対策を怠りなく行います。

**気晴らしに密にならない花見は行っています(写真:しゃくやく園)。もう少し辛抱は必要です。**

発行責任者 豊栄病院病院長 宮島 透